

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第18号 平成23年6月24日

走りに走ったセンター哲也！

打線の凄さに脱帽でした・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
M	3	4	1	5	5	0		18
G	0	0	0	1	0			1



6/24(日)江東区の猿江恩賜公園野球場に向き、神田川メイツとのオープン戦を行った。様々な情報でかなりの強豪チームとの認識はあったが、ここまでの差が有るとは、全く思わなかった内容のゲーム展開であった。決して我がチームの投手の調子が悪かった訳では無い、また、我がチームの守備がお粗末過ぎた訳では無い、想像を絶する、上には上、遥か上のチーム実力を持たれたチームとの対戦であった、という事である。特に打線においては、目の覚めるスイングのオンパレードであった。常に型が変わらないスイングは、今までかなりのキャリアを積まれた証を見ているようである。こんな素晴らしいチームと対戦出来た事を誇りに持ち、いつかは、そんなチームにメンバーと共に成長して行きたい。ただ、そんな内容であった中で、我がチームにも好プレーはあった。4回、先頭は倒れたものの、4番こーすけが、後少しで柵越えの2ベースを放つ。5番梶原の場面でWPによりこーすけが三塁に進塁、そして、場面は一死3塁の得点シーン、ここでの打者の最低限の仕事は、外野への飛球か、叩いてゴロを打つかの2択である。カウント1-2と追い込まれた中で、粘りを見せ、6球目を一二塁間へ合わせた(狙った)打球を打った事により、三塁より、こーすけを迎え入れ、1点を挙げた。たかが、1点かも知れないが、やる事が出来た、という点では、非常に大きい結果である。また、この梶原は、6回には、セカンドで盗塁を指したが、これも好プレーに値する内容である。今日のゲームを決して無駄にせず、迫り来る、我がチームの目標に向け、今一度、自身がすべき内容を考え、取り組もう。やれば出来るが、やらなければ出来ない、一人では出来ないかも知れないが、メンバーと共に考えれば、それも解決出来るかも知れない。個の結晶が和になり、和が機能する事により、チームの勝利に繋がるのだから・・・

それにしても、哲也は本当にお疲れ様！三ツ沢ではそんなに、走ることは無いから、大丈夫、三ツ沢の場合は、ネットの返球を如何に裁くか？だから。でもその前に、そのゲームは、投手がそこまで打たせないさ！